

登録コード	A1129	県内大学開放授業			市民開放授業	
授業科目	動物資源生産学			担当教員	平松 浩二	
英文授業名	Animal Science and Technology			神 勝紀・竹田 謙一・米倉 真一・渡邊 敬文		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生
講義室	農学部2 4 番講義室		授業形態	講義	備考	教員内線電話:2427
<p>(1)授業のねらい          授業で得られる「学位授与の方針」要素 / : 全学共通          ・専門的な知識や研究能力を修得している          ・農学・生命科学の進展や関連産業の需要に柔軟に対応しうる食料生産の科学的基礎能力を高め、関連産業へ貢献しうる能力を修得している          ・専門学問分野における知識・技能を備え、それらに応用できる【専門知識と応用力】          【授業の達成目標】          ・動物生産やその関連産業に関する基礎的な知識を習得し、説明することができる。          ・日本の畜産および関連産業における問題点について理解し、説明することができる。          ・動物科学の基礎的な知識を習得し、専攻研究に応用することができる。          【授業のねらい】          動物生産学コースにおける専攻研究の導入として位置づけられる講義です。担当教員の専門分野の紹介を通じて、動物科学の最深知見や現代社会における畜産のあり方について理解を深めます。          1. 日本の畜産における問題点について理解している          2. 近年の動物科学における話題について説明できる          これら2点について達成することをねらいとしています。</p> <p>(2)授業の概要          本講義は、食料生産科学科動物生産学コースの教員10名によるリレー式講義です。各教員の研究内容を知る上で参考となる講義です。専攻研究の基礎となる専門的な内容を織り込みながら、講義を進めます。</p> <p>(3)授業計画          第1回(4/11) Neuroendocrinology (神経内分泌免疫学)・・・平松浩二          第2回(4/18) 中枢・末梢におけるストレス応答機構とその破綻・・・米倉真一          第3回(4/25) 細胞分化のメカニズム・・・米倉真一          第4回(5/ 9) 疾病の予防と対策・・・渡邊敬文          第5回(5/16) 食肉のテクスチャーと筋組織構造について・・・渡邊敬文          第6回(5/23) ローエミッションのための飼料開発・・・神 勝紀          第7回(5/30) 動物消化管におけるエネルギー変換と生育・・・上野 豊          第8回(6/ 6) 動物消化管におけるエネルギー変換と生産・・・上野 豊          第9回(6/13) 動物の異常行動とウェルフェア・・・竹田謙一          第10回(6/20) 家畜化の始まりと家畜化による動物の変化・・・小野珠乙          第11回(6/27) 動物のバイオテクノロジー・・・鏡味 裕          第12回(7/ 4) 乳の機能性分子・・・河原岳志          第13回(7/11) 肉・卵の機能性分子・・・河原岳志          第14回(7/21) 動物の分子生物学・・・下里剛士          注:7/21は木曜日ですが、月曜日の授業を実施します          第15回(7/25) 乳酸菌の科学・・・下里剛士          第16回(8/ 1) 期末試験・・・平松浩二)</p> <p>(4)自主学習の指針          授業計画を参考にして参考書で予習・復習することを薦めます。また、講義で配付されるレジュメや資料、授業の最後に行う小テストも見直し、復習に役立てて下さい。</p> <p>(5)成績評価の基準          毎回の授業で行う小テストと期末テストで評価します。授業中の質問と同程度の問題が解ければ「水準にある」、小テストと同程度の問題が解ければ「やや上にある」、応用問題が解ければ「かなり上にある」、小テストよりも難しい応用問題が解ければ「卓越している」と判断します。成績を100点満点に換算し、90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」とします。</p> <p>(6)事前事後学習の内容          上述の授業計画に沿っての事前学習を推奨します。また、授業で配布されたレジュメや資料および講義の最後に行う小テストを用いた復習を推奨します。</p> <p>(7)テストやレポートの予定          毎回講義の最後に小テストを行います。また、最終講義日(H25年度は7/29)に期末試験を行います。出席が2/3に満たない者に期末試験の受講は許可しないので、注意して下さい。</p> <p>(8)成績評価の方法          小テスト(50%)および期末試験(50%)の成績で評価します。          授業中の質問と同程度の問題が解ければ「水準にある」、小テストと同程度の問題が解ければ「やや上にある」、応用問題が解ければ「かなり上にある」、小テストよりも難しい応用問題が解ければ「卓越している」。          成績を100点満点に換算し、90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」とします。</p> <p>(9)質問、相談への対応および連絡先          個々の講義内容については、それぞれの担当教員に直接質問して下さい。その他については授業中以外は電話かメールで主担当教員平松浩二に質問して下さい。          Tel:0265-77-1432(ダイレクトイン)、内線2427          E-mail:seitai@shinshu-u.ac.jp</p> <p>(10)履修上の注意          本講義はあらかじめ動物生産学コースの専門講義を受講しておく、と、理解し易いでしょう。</p>						
<p>【教科書】          特に指定しません。毎回、レジュメや資料を配布します。          【参考書】          特に指定ませんが、授業の中で紹介された書籍・論文等を参考にして下さい。</p>						